

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和6年度第3回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	令和6年11月27日（水）午後1時45分 ～ 午後2時40分
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：高橋 毅、星 菜々絵、柳 清美、須永 美智子、岩瀬 香世、 押田 友紀子、武内 まゆみ、井上 麻央、佐々木 好恵、 小尾 裕美、富田 眞貴子、山口 景子、仲里 嘉晃、 眞中 裕子、和田 恵子、下河邊 千草、千田 祐子 （計17名） 欠席者：なし 事務局：障害福祉課長、認定審査係係長、認定審査係主事、認定審査係 会計年度任用職員
議 題	1 報告事項 （1）令和6年度第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について （2）各部会からの報告について （3）部会長会議について （4）その他 2 議題 （1）武蔵村山市自立支援協議会部会員について （2）武蔵村山市自立支援協議会に関するアンケートについて （3）その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題 （1）武蔵村山市自立支援協議会部会員について承認される。 （2）武蔵村山市自立支援協議会に関するアンケートの実施について承認される。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） ●会長 ○委員 ■事務局	■（事前配布資料及び当日配布資料の確認） 1 報告事項 （1）令和6年度第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について ■配布資料に基づき説明 （2）各部会からの報告について （地域相談支援部会から報告） ○配布資料に基づき説明 ●4市交流会は12月13日に開催する予定なのか。部会員は全員参加するのか。 ○4市交流会は相談支援専門員が対象で15人程度参加予定である。今後予定している「意思決定支援を考える」講演は筑波大学の先生を講師として招く予定であり、相談支援専門員が対象である。ただし、参

	加対象を広げる可能性はある。 (就労支援部会から報告) ○配布資料に基づき説明 ●イオンモールでのインターンシップについて聞きたい。 ○障害者就労支援センターとらいが事務局でバックヤードの手伝いを行う。10店が受け入れてくれた。12月中にイオンモール及び市民総合センターで写真展を行う予定である。 ○最低賃金が上がらないと生活が厳しい。賃金を上げる方法を事業所で考えてほしい。部会で検討してもらいたい。 ○部会はB型作業所が多く、その議題もあがっている。B型作業所から一般就労につなげるためには、B型作業所の工賃も上げたいので、勉強会を提案している。 ○事業所間で差があるのを感じている。 ○賃金が高い作業所は、その分仕事が大変で、プレッシャーも高くなる。 ●作業工賃のアップは市全体でとはいかない。そのためには売り上げを上げ、大量発注で、短期の納期が必要である。賃金が高い作業所は、高価な機械を設置していて、海外での製品レベルも高い。 ○イオンモールでのインターンシップが続いているが、障害者への理解に変化があったか。 ○イオンモール内の店舗の店長は頻繁に変わる。理解がある人、ない人がいるので、その状況によって変わる。イオンモール自体は良く取り組んでいる。障害者に対する理解は進んでいるが、雇用は増えていない。 (子ども支援部会から報告) ○配布資料に基づき説明 ●パンフレットを配布する考えはあるか。 ○相談に来た人に配布を考えている。 ●市のホームページに掲載する案があったが。 ■市のホームページには掲載してある。部会でパンフレットの配布方法を検討してもらいたい。 ●今後は、市に確認しながら進めてもらいたい。
--	---

	○他の部会に参考のために配布方法を確認して、配布場所などは部会で話し合う予定である。 (障害者のくらしを考える部会から報告) ○配布資料に基づき説明 ●防災手帳をデータ化してホームページに掲載することはできるか。 ■内容を確認してもらい承認が得られれば、データ化してホームページに掲載する予定である。 ○完成後の配布方法はどうなっているのか。 ○障害福祉課の窓口で配布を検討している。300部程度配布したい。 ■ヘルプカードを配布しているが、その隣に置くこととする。 ○サイズはA3なのか。 ○そのとおりである。 ●各部会で作成物がある。市報で周知するなど障害者に伝える方法を考える必要がある。 (地域支援事業所部会から報告) ○配布資料に基づき説明 ●人材確保や育成については、事業所としては苦慮しているところである。このことについては、興味深いもので良い成果が出るとよい。 (3)部会長会議について ■本日、自立支援協議会の開催前に各部会の部会長で会議を行った。内容は山口委員から願います。 ○各部会長が部会の現状を共有してもらいたいことから30分程であるが開催した。活動目標、メンバー構成、人数、出席率などを共有した。自立支援協議会のアンケートの提案をして実施の承認を得た。 ●目的は部会間の横のつながりと活性化である。令和7年の1月中に第2回目を開催したい。 (4)その他 ●部会で市が参加している部会と参加していない部会があるが、全ての部会に参加することは可能か。
--	---

	■職員の人員不足で業務多忙である。次回は日程次第で参加する。 ○障害福祉課の職員を増員できないか。自立支援協議会の議題に取り上げることはできないか。 ●議題に取り上げるのは難しい。 ■人員が不足しているのは承知している。市全体の状況を見ると難しい。 2 議題 (1)武蔵村山市自立支援協議会部会員について ○配布資料に基づき説明 ■資料のとおり承認をお願いしたい。 ○委員承認 (2)武蔵村山市自立支援協議会に関するアンケートについて ■山口委員からアンケートの実施について提案があり、説明をお願いする。 ○配布資料に基づき説明 ○アンケートの対象は、自立支援協議会の委員及び各部会員なのか。 ○そのとおりである。 ●意見等なければ実施することによいか。 ○委員承認 ○アンケートの結果は共有されるのか。 ○アンケート実施後、結果を部会長会議で共有して、取り扱いについて検討する。 ●次回の自立支援協議会で報告する。 (3)その他 ○防災手帳はA 3 サイズで印刷し、折ることで持ち歩きできるサイズにすることができる。避難所でも開いて見ることができる。 ●今、配布されたばかりなので承認はできない。 ○次回の自立支援協議会で意見を聞きたい。
--	---

	■印刷にずれがあり、きれいに折ることができない。 ●位置を調整する。 ○障害者によっては書くことができないが、記入できる人を検討しているのか。 ○ヘルパー、相談員などが考えられる。 ○知的や精神など様々な障害があるが、全てに対応する手帳は難しい。 ○防災手帳を持つことは必須ではない。支援者と共有と共有できるか確認のためのもので活用してほしい。代筆は考えていない。 ○住所と居所の記入欄が狭いが広げることができるか。安否確認の欄は他市の場合もあり、スペースを広げたほうが良いのでは。 ○グループホームでは避難袋に薬も入れている。週ごとに変わる人もいる。いつ、どこで災害があるかわからないので良い取り組みである。 ●目黒区を参考にしたとのことであるが、個人情報の記載についてどう考えているのか。 ○目黒区は、消防や警察にも手帳を保管している。武蔵村山市では本人のみの保管を考えている。 ●管理が課題である。紛失することも心配である。 ○放課後等デイサービスでは、高校生が記入を手伝うことができる。 ●この内容で今回承認するか、または、内容を確認して次回の協議会で承認するか。 ○次回の協議会までに保管方法を考える。また、次回の協議会までに内容の確認をお願いしたい。 ●内容を確認し、次回の協議会で結論を出すこととする。 (3)その他 ○特になし ■特になし 以上
--	--

